

ヒマワリ 秋も鮮やか 南足柄

南足柄市塚原の「ユートピア農園」で、季節はずれのヒマワリが咲いている＝写真＝。開花時期をずらすことで客を呼び込むビジネスを提唱する古屋富雄さん(65)が、種をまいてから約45日で開花する品種の「夏りん蔵」を使って6月と秋の年2回、大輪の花を開かせている。

4000平方メートルの畑に咲くヒマワリは12月上旬まで楽しめ、2本100円で販売もしている。茎や葉は緑肥として土にすき込み、トウモロコシを植えるという。

古屋さんは「風景を楽しむ観光資源になり、切り花で売れ、緑肥にもなるので一石三鳥」と笑顔を見せた。問い合わせは古屋さん(090・7849・9200)。

